



学校だより



NO.11
東京女学館小学校
令和8年1月16日

新しい年を迎えて

校長 盛永 裕一

昨年の十二月、音楽朝会で歌った歌「White Night」の歌詞の一部です。

鐘の音がひびく 世界は一つと歌う

雪の町にも 南の町にも ひびきたる

一年に一度この星の降る夜には

ほほえみと ぬくもりが どの窓にもあふれるの

クリスマスからお正月、世界平和を祈るとともに、日本文化に触れるよい機会にしたい季節です。

令和八年がスタートしました。新年おめでとうございます。

保護者の皆様には、輝かしい新春をお迎えになったこととお慶び申し上げます。今年も子どもたちのことを、教職員が一丸となって支えていきます。皆様には、本校の教育活動に温かなご支援・ご協力をいただけますようお願いいたします。

さて、この季節、私はいつも小学校時代の楽しいひと時を思い出します。叔父、叔母、いとこたちと一つのこたつを囲んでワイワイ言いながら、かるたやトランプをしたこと。そこにはあふれる笑顔がありました。多摩川の土手で、より高く高くと一生懸命に風揚げをしたこと。そこには近所の友だちと競い合う緊張感がありました。そして、机に並んだおせち料理を家族みんなで食べたこと。そこではこの一年の抱負を語りました。

冬休みは各ご家庭でお正月を過ごし、改めて日本独特の文化を味わったことと思います。そして新年を迎え、心新たにした方も多いことでしょう。

ニュージーランドの日本人学校に勤務していた時、私は少し違った年末・年始を迎えました。それは、文化・気候・制度などの違いからくるものかもしれません。

十二月は、新年を迎えることよりもクリスマスのイベント一色となります。お正月を迎えるころは、国民的な盛り上がりがあり、段々落ついていて、ツリーが月中旬まで飾ってあるのも日本とは違うところですね。

そして南半球は夏を迎えます。クリスマスからお正月にかけて、一番過ごしやすいわかな夏。もちろん、サマークリスマス。十二月から一月末まで学校は夏休み。二月からは新しい学年に進級します。一か月以上の夏休みを迎え、心もうきうきしている季節です。子どもたちは新しい年を迎えることにより、新しい学年に向けての意識が強いのです。「ところ変われば」のよい事例と言えます。



日本のお正月は、年のはじまりにその神様を迎えるお祭りとして定着してきました。年神様は、その年の豊作や健康をもたらす存在と考えられていたので、お迎えするにあたり、様々なしきたりができたと言われています。また、この季節、日本では厳しい寒さがやってきます。このような気候からも、日本人は新年を迎えるにあたって、身も心も厳肅な気持ちになるのかもしれませんが。

私たちは今、日本で時を過ごしています。年のはじめは日本の文化を存分に味わい、子どもたちに伝えていきたい、そう思います。

新年の抱負

1年生



たくさんのチャレンジをし、「できない」を「できる」に変えた1年生。4月のことを思い出すと…その成長ぶりに私たちも驚かされます。

3学期はいよいよ、2年生のお姉さまになる準備の時です。「すてきな2年生のお姉さん」を合言葉に、今年も元気いっぱい頑張ります！

【お正月クイズ】

なんとよむでしょう？

(ヒント：9ひきのうまが、いく)

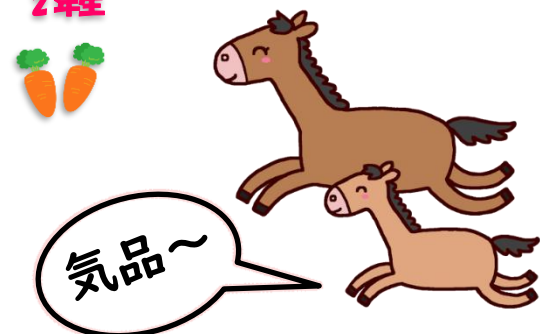


いろいろなことが
「う〇〇〇く」1年になりますように♪

2年生



気品～



みなさんもお馬さんのように、まっすぐ目ひょうに向かって進みましょう。むずかしいと思うことも高くとびはねて、こえていけるといいですね。

3年生にむかって、元気いっぱい、かけ上がります！女学館らしい、気品ある2かいのお姉さまになりましょう。

3年生



たくさん学んで、たくさん遊んで、新しいことにも
どんどんちゅうせんしてみよう。
きとうまくいくはず！
みなさんのことをおうえんしています。

4年生

午年の「うま」は、力強く前を見つめ、一步一步、確かな歩みで進み続ける動物です。目の前の道に向き合いながら、努力を重ね、長い道のりを走り抜く力をもっています。

4年生は、学びの中で自分なりの目標をもち、考え、調べ、工夫しながら挑戦を続けていく学年です。簡単に答えが出ないことにも粘り強く向き合い、努力を積み重ねて前へ進むとする姿は、これからの成長に欠かせない大切な力です。

成長は、挑戦の積み重ねによって生まれます。うまくいかないことがあっても、あきらめずに努力を続けることで、自分の力を確かなものにしていけることができます。

今年も、一つひとつの学びに真剣に向き合い、小さな努力を大切にしながら、新しいことにも前向きに挑戦していきましょう。そして、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

先生たちは、みなさん一人ひとりの努力と挑戦を信じ、その歩みを温かく見守っていきます。

本年も、実り多い一年になりますように！



5年生



う うらかな心で 一年を歩もう
ま まっすぐな気持ちを 大切に
ど どんなことにも 前向きに挑戦
し しなやかに成長する 一年に

5年生のみなさんは、日々の学習や活動にまじめに、そして一生懸命に取り組む学年です。先生たちは、みなさん一人ひとりのよさを大切にしながら、その力がさらに伸びていくよう、毎日見守っています。2026年は午年です。馬が前を向いて力強く進むように、「まずやってみよう」という気持ちを忘れず、一歩ずつ確実に前へ進んでいってほしいと思います。

3学期は、6年生から、東京女学館小学校の伝統や、上級生としての姿勢を学ぶことが大切になります。委員会活動や行事では、自分の役割を果たす責任感と、周囲を思いやる心を育てていきましょう。また、新しく入学してくる1年生を温かく迎える準備も、みなさんの大切な役目です。「ありがとう」「助けてもらってうれしい」と言われる経験は、自分の成長を実感し、大きな自信につながります。少しの勇気を持って前へ進み、自分なりの目標に向かって努力を続ける一年にしてください。先生たちは、これからも変わらず、みなさんの歩みを応援しています。

6年生

うれしい笑顔が 輝くように
まいにちの努力を 力に変えて
どんな困難も 乗り越えて
しあわせの花 咲かせよう



努力を实らせるためには、日々の積み重ねが大事です。時には苦しいことも悲しいこともあるかもしれませんが、乗り越えてこそ、とびっきりの笑顔に出会えるはず。挑戦こそが希望を勝ち取るための最大の方法です。

がんばれ6年生!!

明けましておめでとうございます。
給食「いろはカルタ」です。



- い いつも元気に「いただきます！」
- ろ ロイロでセレクト、今年もやるよ
- は バイキング給食、お楽しみに～♪
- に 人気の「みかんサラダ」は、ボールが空っぽ
- ほ ホットドックは、ぽかぽかホット
- へ べんとう箱のお給食、女学館らしいね
- と トンデモなくおいしい給食は！？〇〇〇！！

児童の皆さんの健やかな成長をねがい、
安心・安全・美味しい給食を作ります。
今年もよろしくお願いいたします。



冬休みは元気に過ごせましたか？
一年で最も寒いのがこの時期です。今年は、ノロウイルスの感染症が流行すると予想されています。
ノロウイルスにはアルコール消毒が効かないので、しっかり手洗い・うがいをして予防しましょう。ドアノブには、ばいきんがたくさんついてますよ。
特に6年生は、残り少ない小学校生活が充実したものであるよう、体調管理には気をつけて過ごしましょう。
よい年になりますように！

★これはわたしのふるさと青森県八戸市の郷土玩具(おもちゃ)「八幡馬(やわたうま)」です。
子どもが健康に育つよう願いをこめて、神社に奉納されます。



全学交流会 中高のクラブに参加してみよう！令和7年12月18日(木)

担当教諭

小中高の全学交流の一環として、5・6年生が中高の部活動に参加させていただきました。機会をくださったのは、剣道・卓球・ダンス・ソフトボール・演劇・ギター・合唱・英語・かるたの9つの部活動。事前に希望を取り、それぞれのクラブに参加しました。好きだしやったことあるから、と選んだ児童もいるし、全く知らないけれどやってみたいから、と選んだ児童もいました。小学生が楽しみにしていたのはもちろんのこと、中高生も一生懸命に準備していました。「記念祭で観た舞台のあのお姉さまだ！」「いつも校庭で見ていてかっこいいと思っていた！」と尊敬の眼差しの5・6年生。どの部活動でも、活発に交流が行われました、小中高が同じ敷地にあるからこそ行えるこの交流会。子どもたちにとってとても有意義な時間になったことはもちろんですが、この5・6年生も数年後にはこんな素敵なお姉さまになって、小学生にクラブ体験をさせてくれるのね！！とワクワクする未来を想像させてくれるひとときにもなりました。



三学期 始業式

令和八年一月八日は、寒の内らしい朝でした。二週間余りの冬休みの後、外に出るのをためらってしまふのではないかしらと心配いたしました。が、一年生から六年生まで皆、記念講堂にこやかに揃いました。

始業式で、盛永校長先生は、

干支の「午(うま)」に因んだお話をされました。「駿足」という言葉から、

「馬のように力強く前に進む」

「目標を決めたら、自分の力で全力で進む」そうして、十二月

には全力でがんばったと自分で自分を褒められるような年にしましょうと、子どもたちを励まされました。

また、「馬」を使ったことわざも

紹介なさり、「馬が合う」お友だちがいれば、助け合い、支え合い、様々なことを成し遂げられてほしいと、伝えられました。

「馬の耳に念仏」のようなマイナスイメージの言葉も教えていただきましたが、子どもたちはその逆でした。校長先生の一言一句漏らさないように聴いているようで、時には深くうなずく姿が印象的でした。前向きなスタートを切ることができた三学期の始まりです。

お話をきいて自分の世界を広げ、自分の考えを深め伝える…対話は学校生活の醍醐味のひとつです。

みなさんが、先生やお友だちと会えることやコミュニケーションをとれることが待ち遠しく、

明るく元気に「いってまいります。」と、ご挨拶できる

毎朝でありますように

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

小学校教頭 下田 栄子



1月の生活目標 『学校の行き帰りに気をつける』

寒さが一段と厳しくなってきました。冬は日が短く、登下校時は薄暗くなっていることもあります。冬の登下校路にはこの時期ならではの危険や、気をつけたいマナーがあります。子どもたちが毎日安全に、そして気持ちよく通学できるよう、学校でも声をかけてまいります。児童手帳の最後のページ(自分の身を守る、乗り物のマナーの7つのポイント)にも大切なことを記載しています。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。

(1)自分の身を守る行動

人目につかない道など危険な場所がないか確かめて、なるべく明るい道を通るようにしましょう。

危険と感じる場所には近づきません。防犯ブザーを必ず持ち歩きましょう。(電池切れになっていないか、ご家庭で確かめてください)

また、寒いからと言ってポケットに手を入れて歩くと、転んだ時に大変危険です。寒い時は手袋を着用します。

(2)乗り物のマナー

バス停や駅のホーム、乗り物の中では静かにし、まわりの方にご迷惑をかけないようにします。ランドセル等が当たらないように気をつけます。

特に学バスは、病院の患者の方と同乗します。無言で乗車しましょう。また、すすんで席をゆずりましょう。優先席には座りません。

(3)交通事故の防止

飛び出しに注意します。横断歩道を青信号で渡っていても、車にぶつかりそうになることがあります。運転する人と目を合わせて(アイコンタクト)安全確認をすることも大切です。歩く時や自転車に乗る時の『交通ルール』をいつもしっかり守りましょう。

学校生活では、掃除の時間や給食の配膳時等にマスクを着用します。また、感染症拡大防止でマスク着用を呼びかけることもあります。必ずマスクの予備(数枚)をいつもお持たせいただき、こまめに交換をするようにご家庭でもご協力をお願いいたします。その際は不織布の「白」をご準備ください。

一月の行事予定



「行事予定」は非公開とさせていただきます。

